

平成 25 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	梅林児童館	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市田端町1番地11		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,242,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:829.92㎡ ◇延床面積:514.44㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、児童クラブ室、事務室 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		H25 下半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	12,297	8,125	10,162	10,314	12,742
	移動児童館利用者数	345	429	295	873	561
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	11	16	8	12	9
	開館日数(単位:日)	156	151	157	152	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、常勤職員(1名)、非常勤職員(3名) ③児童館のおたより「メロディ」の毎月発行・配布(乳幼児用、児童用)、児童館ホームページ、指定管理者の広報誌「ファミリー」に児童館の活動を掲載。 ④常時ご意見箱を設置するとともに利用者アンケートを実施。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②日常清掃は毎日遂行、定期的な玩具の消毒や片付け時には破損等の点検を実施。 ③節電の意識をもち、室温、エアコンの設定温度のチェックを行い使用した。フィルター掃除を職員で定期的に行った。 ④朝、夕の施設外周りの見回り点検を実施。おもちゃ病院に玩具の修理を依頼。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により気が付いたところは速やかに職員が実施。 ②簡易な修繕は指定管理者(本部)に依頼し実施。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 接遇や個人情報、セキュリティなどの研修に参加し報告会で全職員に伝達講習を行った。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成24年9月25日・26日・28日に乳幼児クラブ参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数33人(回収率100%) 回答者の年代 20歳代10人(31%)、30歳代22人(66%)、40歳代1人(3%) 回答者性別 女性100%
利用者アンケートの実施結果	○職員について ・挨拶 満足97%、ほぼ満足0%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・言葉づかい 満足94%、ほぼ満足6%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・対応 満足94%、ほぼ満足6%、普通3%、やや不満0%、不満0% ○施設について ・使いやすさ 満足68%、ほぼ満足22%、普通10%、やや不満0%、不満0% ・整理整頓 満足87%、ほぼ満足13%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・室内の清掃 満足94%、ほぼ満足3%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・換気 満足87%、ほぼ満足10%、普通3%、やや不満0%、不満0% ○乳幼児クラブに参加して ・内容 満足87%、ほぼ満足13%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・時間 適当100%、長い0%、短い0% ○親子で楽しめた活動 体操 おんぶ広場(リトミック) ふれあい遊び、ボール遊び、絵本、紙芝居の読み聞かせ等
利用者からの要望・苦情と対応・改善	・要望 ⇒回答 リトミック・英語をやってほしい クラブの回数を増やして欲しい⇒幼児教室の中で希望に添えるような内容を盛り込んで活動を進めていく 飲食できるスペースの設置 ⇒条件はあるが飲食ができるように準備中 駐車場をとめやすくして欲しい ⇒譲り合って使っていただくようお願いすると共に職員も駐車・出入りの誘導の手助けをする

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	S	S
区分評価			A			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	今年度、4月より特に幼児室の環境設定を見直した。、玩具を遊びの種類や年齢発達に応じて設定し それぞれの年齢の子が十分に楽しめる環境に一新した。玩具の消毒も徹底して行い、利用者からは「おもちゃがきれいになった。」「おもちゃが新しくなった」「絵本コーナーができたんですね」(設定をし直したことで既存の玩具や絵本に気付かれた)と声が聞かれた。職員研修は法人が外部から講師を定期的に依頼し継続して発達心理、接遇などの勉強に取り組んだ。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	前年度下半期「利用促進、利用者増の方策」がBという結果を受け止め、地域の子どもの生活環境を考えた。週末は塾に通ったり、スポーツ少年団で活動をする子が多く 特定の子の利用になりがちであったので、児童健全育成活動は 週末は利用しにくい子ども達も会を楽しんでもらえるように、週を通して製作活動をしたり、曜日を決めてドッジボールやカラムなどに取り組んだ。これによって、活動を楽しみに平日に来館する子もあり、平日の利用増が 小学生、その他の児童の利用数増加につながっていると考えられる。また、低学年の利用数が少なかったことから、遊びの道具、内容を見直したことで 低学年の来館も増えてきている。
今後の取組み	幼児クラブは定員がいっぱいになることが予想される状態であるので、より多くの方に利用していただけるように登録型クラブの増設を予定している。内容については母親が興味を持っていること(英語、リズム遊び)、家庭ではできないような 絵の具や粘土などの遊びを活動の中に盛り込んで要望に応えたいと思う。駐車場については限られたスペースであるので、今の段階では職員が車の誘導をしながら1台でも多く駐車していただけるように配慮していく予定である。児童健全育成活動では 季節がら後期は利用人数の減も予想される。しかし、な活動内容の質を高め、魅力のある児童館にしていきたいと思う。ドッジボール、縄跳び等体力増進活動のほか、集中力や器用さを養うように工作、折り紙などの活動を継続的に行っていきたい。また、定例となっているけん玉クラブでは技の向上だけでなく、リーダー育成も視野において子ども達の指導を行っていきたい。

●所管課の意見

<p>ホームページでの広報を工夫したことで見たい情報がよりわかりやすくなったり、問い合わせも増えるなど効果が上がっており、好評でもある。加えて毎月発行のお知らせ「メロディ」を小学校、公民館、保健センターに置くなど幅広い広報活動を実施した。</p> <p>アンケートも中身を変えて事業内容だけでなく、職員についても項目を盛り込みサービス向上に意識をもって対応にあたった。</p> <p>事業については幼児教室の充実や新規事業を数多く実施したことで希望者や利用人数も増えて効果を上げている。中学生の利用が多いことから学校や関係機関とも連携、情報交換し、要する児童などの対応や指導に当たった。</p> <p>樹木の剪定など地域住民からの要望や苦情にも迅速に対応し、環境整備にも努めた。スタッフについても保育士を配置するなど手厚く、評価できる点である。</p> <p>経営状況については問題なく運営が行われた。</p> <p>地域のボランティアへ行事の協力依頼をし、地元の住民、高齢者の活用に努めた。また地元の行事にも積極的に参加したり、地域の団体と共同で映画会を開くなど地域の活性化や社会活動にも大変積極的にとりくんだ。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

事業運営は活性化されており、施設間での競争意識も働いて良い結果が出ている。今後も他施設との情報の共有・交換を積極的に行っていただきたい。

子育て支援に対する社会の要望をきちんと把握し、うまく活動に取り入れている。

ブログ等のインターネットを利用した広報は大変効果があり、引き続き活用していくと良い。

適正に管理運営されており、良好と認められる。